

部門学術業績賞を受賞して



辻内 伸好
(同志社大学)

この度は、機械力学計測制御部門の学術業績賞を賜り誠にありがとうございます。
当部門には大学4年の最初の講演、三菱電機での振動・騒音に関する研究、同志社大学に移籍し機械力学と制御工学を担当して以来現在まで、非常にお世話になって参りました。自分の研究を振り返り、一貫したテーマがなく「機械力学計測制御はシステム工学だ」と言い訳しながら様々なテーマを食い散らかしてきたとの反省にもかかわらず、このような賞をいただくことになり、恐縮いたしております。

受賞理由を拝見しても、私の認識は間違っていないと思います。にもかかわらず最近、「宇宙生体医工学」などというさらに無謀な領域へ研究を広げてしまっている有り様です。ヒューマン・ダイナミクスに興味を持って開始した慣性センサ、力センサ、負荷制御型トレッドミルなどに関する研究が、ここまで来てしまいました。研究・教育も異分野との交差で大変ですが、少しずつ進めていきたいと考えています。

昨年から今年にかけてコロナが蔓延し、国際学会や国内学会活動はもとより、大学の研究室活動、大学講義についても対面での交流がしにくくなってしまいました。私の研究室の状況を見ても「日頃からの密な情報交換」「イベントなどを通じた内面も含む情報共有」そして「研究室に来て研究すること」が重要だと改めて認識いたしました。

私も微力ながらご協力させていただきますので、機械力学計測制御部門がポストコロナの時代に向け、学術領域でイニシアチブをとって活動できるように祈念し、お礼のご挨拶とさせていただきます。